

HSK ☆ いちばんぼし

HSK通巻 248号

昭和48年1月13日第3種郵便物認可
平成4年12月10日発行(毎月10日)

全国膠原病友の会北海道支部

いちばんぼし No. 87

も く じ

1992. 12. 10

支部だより

- ◆報告(Ⅰ) - お礼にかえて - ... 1p
- (Ⅱ) - 医療講演会を終えて - ... 2p
- ◆署名・募金のお願い 3p
- ◆質問BOX 4~ 7p
- ◆おたよりコーナー 8~14p
- ◆膠原病アラカルト 15~16p
- ◆事務局からのお知らせ 17~18p
- ◆あとがき(久)



お礼にかえて

支部長 小寺 千明

急に寒気がやってきて、冬の訪れをいやでも感ぜずにはられない今日この頃ですが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

友の会では20周年記念行事の報告も終えて、少しですがやっと肩の荷をおろしたところです。

今日は実は皆さんに嬉しいご報告をしたいと思います。20周年記念誌『いちばんぼし』はもうお読み頂けましたでしょうか。約2年の歳月をかけて(少しオーバーではありますが)、出来るだけ多くの方々に読んで頂きたくて、赤字覚悟の発刊でした。でもこの度、財団法人北門信用金庫まちづくり基金様より、この記念誌の印刷代の助成金を頂くことになり、私小寺が11月20日滝川に行って来ました。何分このような大金の寄付を頂くのは初めてのことで、難病連にいろいろと教えて頂き、感謝状を送らせて頂きました。助成金の贈呈式の後に行われた座談会では、2番目に指名されたこともあって、あまり時間がないのに長々と病気や友の会の説明をしてしまいました。とにかく嬉しさのあまりの表現だったのかもしれませんが。

友の会にとって本当に嬉しく有り難いクリスマスプレゼントとなりました。この場をかりて厚く御礼申し上げますとともに、これからも難病患者すべてにご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。(11月29日記)

12 団体に助成金

北門信金まちづくり基金

【滝川】滝川や札幌などのまちづくりや文化関係団体を支援している北門信用金庫(本店・滝川市)の「まちづくり基金」(理事長・岡田外之同金庫会長)は二十日、本年度助成する札幌などの十二団体に総額四百万円を滝川ホテル三浦華園で贈った。

和六十二年に設立され、毎年助成を続けている。贈呈式では各団体の代表者が岡田会長から目録を受け取った。助成を受けた石狩管内の団体は次の通り。
栄町中央商店街振興会、北海道インターナショナルスクール、襟路あさひ太鼓、全国筋無力症友の会北海道支部、全国膠原(こうげん)病友の会北海道支部、北海道視覚障害リハビリテーション協会(以上札幌市)江別ホテルの会、千歳音楽協会、浜益村商工会

1992. 11. 22北海道新聞

医療講演会を終えて

友の会では結成20周年記念行事を終えた後、21年目に向けて新たなスタートの最初の行事として、函館(11月1日)と室蘭(11月21日)で医療講演会および相談会を行いました。函館は昭和63年以来4年ぶりの開催で、室蘭は北海道難病連室蘭支部との共催で初めて開催しました。ともに参加人数は今ひとつでしたが、家庭的な雰囲気の中で先生のとても分かりやすいお話に、皆さん真剣に聞き入っていました。相談会では次から次に質問が出て、時間が足りなくなるくらいでした。

今回の2つの地域での医療講演会で感じたことは、やはり専門医の不足でした。専門医にかかっていない人の不安はとても大きく、またちょっとしたことからそれが不信感にまでなりかねない状況のようです。

専門医の必要性と大切さを訴えていくことは、21年目に向けて新たなスタートをきった友の会にとって、重要課題といえると思います。そのことを再認識した医療講演会でした。

膠原病の理解深める

専門医師招き講演、相談会 室蘭

膠原病(こうげん)病医療講演会・相談会(道難病連室蘭支部、全国膠原病友の会北海道支部主催)が二十一日、室蘭市東町の胆振地方婦人会館で開かれた。両支部が「さまざまな難病について知り、今後の日常生活に役立ててもらおう」と開いており、今年度は「本病」に次ぐ二回目の講演会。勤医協丘珠病院の深町知博内科医を講師に招き、両支部のメンバーや市民らが受講した。道内の膠原病患者は、特定疾患として認定されている患者を含めて二千五百―三千人と推定されている。

深町医師は「膠原病は二カワの意味」とし、個々の細胞をつなげる膠原繊維であることを説明した上で、「病理学的に結合組織疾患とリウマチ性疾患、自己免疫疾患の三つの顔を持つ病気で」と解説した。膠原病の代表的な症状である慢性関節リウマチ、皮膚筋炎など五つを挙げ、このうち全身性エリテマトーデス(SLE)に絞って、SLEの初発症状や病の度合いによるステロイド投与の在り方などを分かりやすく話していた。

1992. 11. 24室蘭民報社

署名・募金のお願ひ

今年もJPC（日本患者・家族団体協議会）の『難病患者らの医療と生活の保障を要望する』ための国会請願署名および募金活動が始まっています。

毎年お願いしていますが、今年も病気や障害を持って高齢になっても、ともに暮らせる社会の実現を目指してご協力をよろしくお願ひします。



募金は、今回の国会請願署名行動に必要な諸経費（署名用紙や送料など）や派遣費用となります。併せてご協力をお願ひします。



- <締切> 平成5年3月末
<郵送先> 友の会事務局まで
〒064 札幌市中央区
南4条西10丁目
北海道難病センター内
<送金方法> 同封の
郵便振替用紙にて



久し振りに質問BOXをお届けします。
友の会入会申込書の後の要望や意見、困っていることなどにお寄せ頂いた札幌のSLEの新入会員の方からです。



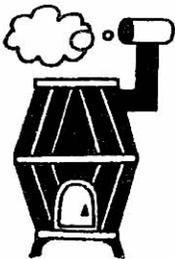
要望、意見、現在困っていることなどをお書き下さい。

まだ発病して間もないので、これからのことがいろいろ心配です。

- ①どのような経過をたどって、どのくらい回復するのかわかるといいですか？
- ②入院後、どのくらい体力が回復し、家事や仕事ができるようになるのか？
- ③どんなふうに暮らしていけば、安定期をより長くし、家庭生活や社会生活を営むことができるのか？

など、もっと自分をほめていけば、不安な点はたくさんあります。

また、このような病気で苦しみなからも頑張っている人がたくさんいると思います。それらの方の情報がたくさんほしいです。頑張っている人がいると思えば、こちらにも頑張ろうという気持ちも持ていけるのではないかと考えます。「仲間」の存在を知り、今現在どのような状況に仲間がおかれているのかよく知りたいです。病気になった自分というのかわかるといいのですが、いろいろな角度で知りたいと思います。





北海道大学医学部附属病院

第2内科 大西 勝憲先生

この会員さんからは3つの質問を頂きましたが、最初の2問は互いに関連した質問ですのでまとめてお答えし、最後の質問については別個にお答えしたいと思います。

まず最初の2つの質問ですが、この方の病気は全身性エリテマトーデス（これ以後SLEと略す）で発熱、多発関節痛を主訴としています。普通このような主訴のSLEですと、軽症の部類に入ります。しかし、これらの初発症状が短期間に急激に出現したのか、また長い期間にわたって慢性的に続いてきたのかによって、多少治療方法が異なります。また腎臓をはじめとして内臓病変が存在するのか、また存在するなら病変の程度により治療法が異なりますし、血液検査で見つかる自己抗体の種類やそれぞれの自己抗体の量によっても治療法が異なってきます。このように考えると、同じ疾患でも一人一人により随分病気の型やそれぞれの重篤度により治療法が異なることがお分かりになるかと思いますが、多くの場合ステロイドホルモンで治療いたします。病状にあったステロイド量を使うと、早くて治療した日からまた遅くても数日のうちに初期の症状がとれてきます。しかし、初期の症状がとれてもステロイドの量をすぐに減らす事は出来ません。SLEの治療には、症状を引き起こした免疫異常を改善させる必要があるため、数週間初期のステロイドを服用し続ける必要があります。一般的に初期治療をそれぞれの患者さんにあわせて必要でかつ十分に行うことが、今後の再発を抑え結果的にはステロイドホルモンの総投与量を可及的に少なくする最も有効な方法と考えられています。患者さんが今後どれほどの期間で回復するのかによっては、SLEに直接関連した症状からの回復という事はもちろんですが、上記のようにすぐ回復しますので、この問題はむしろステロイド治療にともなうその

後の種々の副作用からいつ頃回復するのかという質問におきかえることが可能と思います。私達はステロイドホルモンの副作用を便宜上二群つまり大きな副作用と小さな副作用とに分けます。大きな副作用には胃十二指腸潰瘍、糖尿病、大腿骨頭無腐性壊死、骨粗鬆症、高血圧、感染症の誘発等があり、小さな副作用としては易疲労感、不眠、いらいら感、抑うつ気分、筋萎縮を伴う筋力や体力低下、体重増加、満月様顔貌、心悸亢進、多汗、座そう、生理不順など多岐にわたってあります。もちろんこれらの副作用がステロイド治療をした患者さんにすべて現れるのではないわけですが、患者さんは上記の小さな副作用のうちいくつかを経験する事と思います。これらの副作用はステロイドホルモンの減量に伴い徐々に軽快しますが、かなり長期に渡って残ることも少なくありません。ステロイドホルモンのひとつであるプレドニンを例にとると一般的に一日あたり30～40mgの量から主として体幹や下肢の筋力強化のリハビリを開始出来ますので、20～30mg位になると家事を含めた日常生活が十分に可能になると思われます。仕事に就くとなると仕事内容にもよりますが、軽作業や事務的な仕事なら20mg前後から開始可能と思われます。もっとも個人差があるため一人一人の患者さんについては主治医と詳しく相談することが必要と考えます。また膠原病やその他の重い慢性疾患の患者さんとの意見交流や家族、親戚、友人の方々の励ましのほか患者さん自身の病気に対する姿勢により、易疲労感や体力低下感がかなり影響される事はいうまでもありません。

次の質問ですが、再発を防ぎ安定した時期を長く維持するためには治療薬を決められた通り服用する事はもちろんのこと、ご自分の病気が今どのような状態にあるのかを理解することが大切だと思います。その為には簡単な健康日記を書く事をお薦めします。自分の心と身体の状態を少し冷静に判断する事が可能ですし、診察時に主治医と相談する上でとても役に立つのではな

いかと思います。また患者さんの的確な訴えは相談を受ける医者にとってとても参考になります。症状に応じたきめ細かい検査や治療を早い時期に行う事が可能になり、ひいては病気の再発を未然に防ぐことも可能になるかもしれません。その他日常生活で注意して頂きたい事に食生活があります。脂肪分を抑えた良質のタンパク質、ビタミンやカルシウム分の多い食事をとり、そして塩分を控えることが大切だと思います。よく外来で膠原病の患者さんからお酒に関する質問がでますが、少量のお酒であればとくに問題はないと思います。一方普段から感冒にかからないよう外出から帰宅したらうがい必ずするようにしたり、風邪が流行している時には人がたくさん集まる場所を避ける事も大切だと思います。また日光の問題についてはあきらかな日光過敏症がない限り以前ほど厳しくは指導していませんが、積極的な日光浴は感心しません。

最後になりましたがどのような病気でも同じことですが、病気の再発を恐れるあまり厳密な生活を続ける事は時には大変苦痛なものです。たまには好きな食べ物をたらふく食べたり、好きな物を買ったり、旅行に出かけたりして気分転換する事も、慢性疾患と上手につきあう為には大変大切な事と思いますので日常生活に取り入れてみて下さい。

あなたは病気や友の会について疑問に思ったり、もっとくわしく知りたいと考えたことはありませんか？ そんな方は友の会事務局までお便り下さい。専門の先生による答えを機関誌の中の質問BOXでお知らせします。



おたよりコーナー



〈敬称略〉

先輩支部の皆様を参考に

茨城支部準備会 千葉 洋子

こちら関東地方は紅葉で今が一番美しい景色となっておりますが、北海道はだいぶ寒くなってきたことでしょうか。

この間は20周年記念誌をお送り下さりましてありがとうございます。大変立派な本でびっくりしています。だいぶご苦勞なされたことでしょうか。私たちの会はこれからですが、先輩支部の皆様を参考に頑張っていきたいと思います。お体大事にこれからも患者会員のたれにご活躍下さいませ。

しっかりとした土台の上に立つ

「友の会」を実感しました

愛知県支部 中野 久子

キンモクセイの香りがどこからともなく漂い、秋の深まりを感じさせる季節となりました。小寺様を始め、北海道支部の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

この度は20周年記念大会おめでとうございました。ご盛会の由、心よりお慶び申し上げます。また、立派な記念誌『いちばんぼし』をお送り頂きありがとうございます。充実した内容に皆様のご努力を想い、ただただ感服致しております。しっかりとした土台の上に立つ「友の会」を実感致しました。

愛知支部も足元を見つめながら、歩いて行きたいと思ひます。今後ともよろしく御教示下さいませ。機会があればゆっくりとお話聞いてみたいと願っています。北海道の秋はかけ足でしょうか。お身体を大切に、くれぐれも御自愛下さいませ。

記念誌は仕事の合間と

通院の時に読んでます

上川町 佐藤 みよ子



最初に記念誌『いちばんぼし』を手にした時、これだけの本を発行するまでにはとても大変なご苦勞だったこととしました。この記念誌を作るために携わった方々に感謝致します。

私も友の会に入会してもうすぐ3年になろうとしています。入会してからはまだ浅い方だと思います。発病は昭和56年秋ごろでした。どうも調子が思わしくなく、いくつかの病院を歩きました。婦人科、整形外科、総合病院と歩き、皮膚科で膠原病と診断されるまで5年かかりました。以前から名前だけは聞いたことのある病名でしたが、まさか自分にこの病名がつくとは……。でも病気から逃げることは出来ない、どうしようもなく私のまわりには同じ病気の患者さんは聞いたことがないし、どんどん落ち込んでしまい、人と口をきくのもいやでした。仕方がない病気と仲良く付き合うほかないと考えるまでには2年程かかりました。

昭和61年7月ちょうど医療講演会があることを知り出かけてみました。そこで友の会があることを知り、平成元年11月に入会したような訳です。今では入会して本当に良かったと思っております。支部長さんを始め運営委員の方々には同じ患者でありながら、いつの時でもすべてのことをして頂き、何も手伝うことの出来ない私はいつも頭の下がる思いでおります。今回の記念誌の発行に際しても、先生方にも貴重な時間をさいて頂き、事務局の皆さんにも大変ご苦勞をかけたこととします。記念誌は仕事の合間と通院の時に汽車の中で読ませて頂いております。役員の皆さん本当にご苦勞様でした。感謝しつつ今後ともよろしくお願ひします。最後に早く病気の原因が究明され治療法が明らかになることを望みます。

一日では読みきれぬ内容に驚き



宮城県支部 石川 麗子

先日は記念誌をありがとうございました。表紙が明るく、活字も大きく見やすく、内容の濃い一冊だと思います。特に医療、福祉資料については勉強になりました。一日では読みきれぬ内容に、ただただ驚いております。私たち支部も北海道を見習って頑張りたいと思います。これからますます寒くなって参ります。皆様お体に気を付けて下さいませ。

記念誌をこれからの励みに

茅ヶ崎市 M・Y

立派なご本をお送り下さいましてありがとうございました。今、一生懸命に読ませていただいております。知らなかったことも多く、皆様のご苦勞も分かり、これからの励みに致したいと思っております。送金が遅くなって申し訳ありませんでした。



感動の中で読んだ

北海道支部20年の歩み

福岡県支部 手島 京子

朝夕めっきり涼しくなり秋の気配が感じられる頃となりました。北海道支部の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

20周年記念大会も盛会で終わられ、本当におめでとうございました。役員の皆様お疲れは出ませんでしたか。また記念誌『いちばんぼし』を送って頂きお礼が遅くなり申し訳ありませんでした。北海道支部の20年間の歴史を感動の中読ませて頂きました。私たち福岡県支部も支部発足から2ヶ月がたち、今一つ一つの課題に取り組みながら役員一同頑張っております。これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。では皆様お体をくれぐれもご自愛下さい。

思いつくままに

— 記念大会と記念誌に思う —

関西ブロック 久保田 百合子



拝啓 少し暖かい日が続くかなと思うと、急に寒くなったりと、不順な気候が続いておりますが、体調をくずされておられませんか。こちら心配しておりましたが、一応今のところ役員一同無事に過ごしている様子です。

先日『いちばんぼし』NO86受け取りました。記念大会の様様読ませて頂きました。参加したかったのでなおさら興味深く、三森さんのお話は生活環境や形は違っても、私たちの皆さんが同じような悩みを持っていると思います。そしてやはり行きつく所は、今の自分をありのままに受け入れることだと思います。そして開き直った時、いろいろな事が見えてくると思います。佐川先生本当に親しみのある素敵な先生ですね。友の会の活動の本質を見抜いて下さって、良い状態で友の会にご協力下さっておられる。この先生のもとから多くの先生が私たちの力となって下さることでしょう。大橋先生のようなお話（医療やそれを取りまく社会保障政治）は一度本部の『膠原』でも取り上げてはどうでしょうか。今の会員のほとんどの人は現状がどう変化していくのか分かっていないと思います。

次に20周年記念誌『いちばんぼし』についてですが、素晴らしい本が出来上がりましたね。「発刊にあたって」「あとがき」に書いておられるように活動の目的がほぼ満たされた本として、多くの物を学ばせてもらうことが出来ます。この本を贈って頂いたのが、私たちの20周年式典の準備の真最中で、チョッとだけと思いに手に取ってみたのですが、途中で止めるのが大変困難でした。機関紙『いちばんぼし』のオレンジ色、いつも暖かくって良いなと思っておりましたが、こうして立派な記念誌の表紙として手に取ってもホ

ッとしますので、やはり素敵な色です。三森さんの言葉も小寺さんの言葉も、患者会の世話役を引き受けてからずっと悩みひきずってきている私の気持ちそのもので、私自身も何かお二人の言葉の中から、自分なりの解決方法が見つけれそうです。

医療記事も他のいろいろな本の病気の説明と一味違って、書いて下さっている各先生方と貴支部との良い密接な関係がうかがわれ、どこか暖かみがあり通り一ぺんの説明に終わっていないようです。福祉制度も大変に役立ちます。私たち膠原病患者の利用できる制度が整理されており、分かりやすく便利です。(中略)

北海道はすっかり冬でしょうね。ますます寒さが厳しくなりますが、風邪などひかれませんよう、お体大切になさって下さい。

友の会のこと初めて知りました

函館市 T・K

前略 先日北海道新聞の記事を読み、全国膠原病友の会があることを知りました。記念誌『いちばんぼし』を希望しますので、送って頂きたいと思えます。また会員になりたいと思えますので、手続き等も教えて下さい。

9年前よりネフローゼで通院治療中でしたが、今年の2月より膠原病になり5月25日から現在入院治療中ですが、一進一退です。ステロイド治療ですが、副作用が強く、現在は大変苦しい思いです。気持ちも不安で、自分自身に負け病気にも負け、また回りにも同じ病気が人がいなくて話を分かってくれる人もなく、大変不安でさみしい毎日です。家庭の方も21才と17才の女の子が2人います。何とか頑張って2人の子を嫁に出したい、それまでは生きたいと切に願っている毎日です。この度友の会があることを初めて知り、今の私は大変嬉しく思えます。よろしく願います。

明るく元気に

鎌倉市 T・I

北海道支部発足20周年おめでとうございます。遠い寒い地域で頑張っている仲間もいる。負けないで明るく元気で暮らせるよう一頁一頁大切に読ませて頂きます。ありがとうございました。

記念誌の申し込みで頂いたお便りより

NO, I

札幌市 Y・M

前略 突然お手紙差し上げ失礼します。実は9月4日付の北海道新聞で膠原病友の会道支部が20周年ということで記念誌を発刊された事知りました。それで私も是非読んでみたく、お手紙書いた次第です。私ことですが、今年の3月(37才)突然発病し、今はシェーグレン病とSLEを合併し通院中の日々です。小さい時から体が弱く、血液の異常も何回かありいつかは何かおきるではと思っていたのですが、何せ上が6才、下2才という状況で、ずい分去年はつらい思いました。

幸いSLEは軽い方で、今のところ通院ですんでいる次第です。良い医者にも恵まれ、また看護婦さんが私と同じ病気ということでずい分励まされています。しかし一生の病気かと思うと、時々不安になりますし、同じ悩みを持つ人々の手記など読んでみたいと思っていたところです。ぜひ1部お送り頂ければと思います。発病する前私自身障害者(ろうあ者)の学校に勤務し、障害者の自立の難しさなどずい分考えさせられておりましたが、まさか自分がこのような病気になるとは思ってもいませんでしたが、仲間がいればずい分心強いのでは?とも考えていた日々でした。

今後の会の発展を祈りつつ、お手紙差し上げました。2000円同封しますので、残金は寄付にして下さい。よろしくお願ひします。

NO, II

端野町 A・S

前略ご免下さいませ。

9月2日と4日、膠原病についての記事が載っていましたが、自分にも思い当たる症状がありショックでした。4～5年前から手の指にレイノー現象があるのです。始めは傷あとの残っている中指だけでしたのでそのせいだと思っていたのですが、年々他の指にも現れ、指先から下に下がってきているのです。夏でも水を使って仕事をすることはいやで湯でやっています。この季節の変わり目は夕方から手の平がとてほとります。(足の裏は年中、特に夜はほとっていますが) やはり強皮症のせいでしょうか。仕事上、冬は外へ出なければならなかったり、また車の運転の時冷えきった車に乗ったり、ゆううつな季節を迎えるのですが、この度記念誌を発行されたとのことですので、ぜひ読んでみたいと思います。ぜひ送って下さい。2000円同封しましたが、残りは会でお使い下さい。冬休みに専門医にかかってみたいと思います。





女性に多い 強皮症

マトリクスや慢性関節リウマチなど、強皮症もその一つだ。
強皮症で最初に現れるのが、レイノー現象という症状。冷たい水や冬の冷気に触れた時、手足の指に起る血行障害だ。典型例では水に手を入ると指先が真っ白になり、酸素不足で紫や赤に変色した後、元に戻る。

冷たい水に手をつけると指先が白くなったり、皮膚が硬くてつまめなくなる強皮症(きょうひしやう)という病気がある。自己免疫疾患の膠原(こうげん)病の一つで、厚生省の特定疾患にも指定されている難病だ。患者は圧倒的に女性に多く、皮膚だけでなく内臓にも異常を引き起こす。最近では薬で症状をコントロールできるようになったが、治療には根気が必要な病気だ。

膠原病は臓器のすき間などを埋めている膠原線維が、病変は内臓や皮膚、関節などに異常が起る全身性エリトラー節や筋肉が変性するリウマチ



熊切正信助教授

まず手足の指に血行障害

内臓、関節にも異常

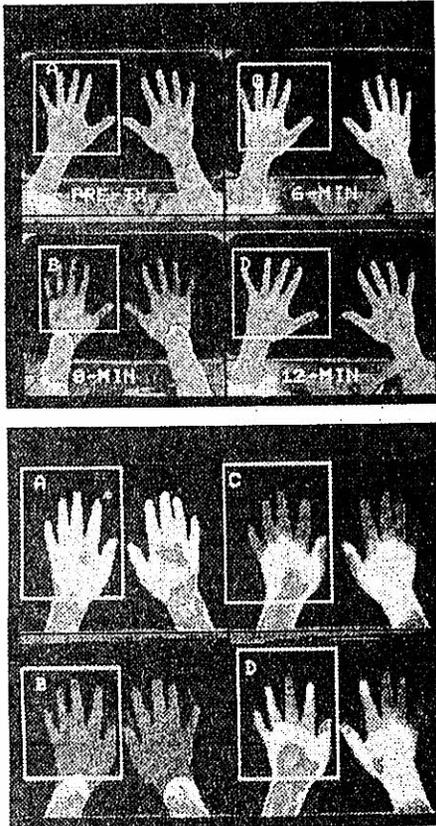
治療には根気

が始まる。これが強皮症と呼ばれる理由。硬化は胸や顔にも及ぶ。指を曲げ伸ばしにくくなり、口を開けづらいなど、顔の表情も乏しくなる。血行障害が進むと、指先や

が、道内では約三百人とみられているが、その九割以上が女性。特に中年以降に多い。しかしその理由も含め症状の原因は、膠原病のほかの疾患と同様に分かっていない。米国で以前、豊胸術などで

ぜ皮膚を硬化させる自己抗体がでているのか、自己免疫反応を抑える細胞の働きがなせ落ちるのかなどが不明で、治療も患者の状態に合わせてさまざまな方法を取る。レイノー現象にみられる循環障害を食い止めるには、血流を改善する血管拡張剤を使う。これには従来からのプロスタグランジン系のほか、最近はいわゆるの脂肪に含まれるエイコサペンタエン酸系も使われる。これに硬化した皮膚を柔らかくする薬を併用する。

だけのうちなま早く見つければ、薬などで進行を遅くできる。寒い時は手足の保温に努め、消化のいい食べ物を選ぶなど、注意点を専門の内科や皮膚科で相談すれば、日常生活に支障はなし」と話している。



サーモグラフィで見た氷水につけた手の皮膚温の変化。白い部分ほど温度が高い。Aはつける前、Bが直後、Cが6分後、Dが12分後。④正常なら6分で元に戻るが、⑤強皮症では指の回復が遅い

皮膚に潰瘍(かいよう)がでることもある。強皮症患者が喫煙厳禁なのは、たばこが血管を収縮させ、血行障害を悪化させるからだ。硬化は皮膚だけでなく、肺や消化器にも起る。肺では内部の組織が繊維化して酸素を正常に取り込めず、愚痴れや呼吸困難を引き起こす。食道が硬くなり、食べ物を飲み込みにくくなったり、腸のぜん動運動が鈍くなり便秘がちになる。

厚生省の調査では強皮症患者は人口十万人当たり五十六

シリンを体内に注入した女性に、強皮症によく似た症状の病気が多発した。熊切助教は「シリンを除去したら症状が軽くなり、ある種のシリンに病気の原因があるのでは」といわれたが、結局、因果関係は解明できなかったという。

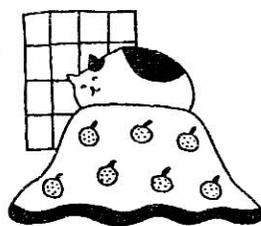
膠原病自体が自己免疫疾患で、正常なら外から侵入した異物を排除する免疫機能に異常が起き、自分の体を攻撃する自己抗体ができる。しかし膠原病に詳しい同学部第一内科の佐川昭助手によると、治療法は異なるが、皮膚症状



佐川昭助手

事務局からのお知らせ

11月30日現在



★ご寄付いただきました

・高橋きみ子様	8,400円	・早坂隆様	20,000円
・片桐幸子様	3,800円	・小城恵様	5,200円
・合田淳子様	800円	・北門信金様	10,000円
・平尾陽子様	800円	・松井織恵様	800円
・深町知博様	20,000円	・匿名様	4,500円
・関口巖様	1,800円		

☆ありがとうございました

★新しく入会された方達です

- ・岡部 冴子
- ・芦崎 靖子
- ・合田 淳子
- ・向井 仲子 (強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎 s6912生)
- ・近藤 幸子 (SLE s26831生)
- ・羽田タケ子 (SLE s14110生)



☆よろしくお願ひします

★住所変更された方達です

・石川 智雪

・三ツ橋チエ子



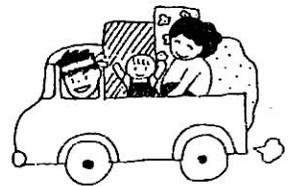
本部事務局が下記に移転しました。

〒102 東京都千代田区富士見 2-4-9

千代田富士見スカイマンション 203号室

TEL 03(3288)0721

FAX 03(3288)0722



友の会や「いちばんぼし」に対するご意見やご感想、
ご要望などは友の会事務局までお便り下さい。

あ と が き

とうとう雪が大地を覆ってしまいました。
体の調節機能が温度変化についていくのがやっとです。
1992年もいよいよ終盤に入り、身の回りが慌ただしくな
ってきました。

この一年を振り返ると、決して平穩ではなかったにし
てもいま再び年末を迎えています。今年は何の会も20
周年という大事業を無事終えました。

弱きになったら出来ない事でも、氣力がいつも背中を押
してくれているような気がします。氣力は生きるエネル
ギーです!!

来年も病気に負けず頑張りましょう。12月20日の
難病連のX'マスパーティでお目にかかれぬ方、どうぞ
良いお年をお迎え下さい。

来年は皆さんにとってもうひとつ良い年でありますよう
に。

(久)

~~~~~  
<編集人> 全国膠原病友の会北海道支部  
編集責任者 小寺 千明  
☎064 札幌市中央区南4条西10丁目  
北海道難病センター内 ☎(011)512-3233

<発行人> 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
☎001 札幌市北区北13条西1丁目 神原義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻248号 100円  
いちばんぼしNo.87 平成4年12月10日発行(毎月1回10日発行)  
~~~~~